

令和2年度 会津教育事務所推進プラン

[域内の現状(強み・弱み)]

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちは素直であり、学習意欲が高い。 ○ 各学校で、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組が顕著である。 ○ 学校生活の中で、子どものよい点や可能性を見いだし褒めるなどの取組を積極的に行っている。 ○ 各市町村の社会教育が充実している。 ○ 地域学校協働活動や学校支援活動のモデルとなるよい取組が見られる。 ○ 特別支援学級・通級指導教室における自立活動の指導の充実が顕著である。 ○ 運動身体づくりプログラムの全校実施など、組織的な取組により、体力向上が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学校ともに、学力調査の平均正答率が低く、特に活用に関する問題を苦手としている。 ・ 不登校児童生徒数が小学校で増加傾向にあり、小中の出現率が県内で最も高い。 ・ 学校教育と社会教育の連携協力体制の整備を推進する必要がある。 ・ 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制を整備する必要がある。 ・ 肥満傾向児出現率が高く、改善傾向が見られない。 ・ 不祥事根絶や多忙化解消に対する意識の個人差が大きい。 ・ 教職員の不祥事が続いている。

人間力に満ちた人材の育成 ～学びをつなぐ・育ちをつなぐ会津の教育～

〈推進ビジョン〉 域内の市町村教育委員会、小・中・高等学校長代表者会をはじめとする地域や関係機関と連携し、学校・家庭・地域が一体となって、人間力に満ちた人材の育成に努めます。

※人間力に満ちた人材…学習や経験から学んだ様々な力を生かして、自らの道を切りひらき、社会に貢献することのできる人材

視点① 学力の向上

- 授業改善のための指導の重点を前期・後期に作成し、それらを活用して授業の充実に努めます。
- 学校のニーズに応じた要請訪問の実現や、「ステップアップ『Aizu』」を工夫し、教師の自己研鑽の場を充実させます。
- 全国や県の学力調査を活用するための資料を作成し、個に応じた指導を充実させます。

視点② 人間性・社会性の育成

- 不登校に関するリーフレットを作成し、訪問時に活用して、適切な未然防止・初期対応を推進します。
- 「理解シート」「援助チームシート」を生かし、悩みを抱えた(支援が必要な)児童生徒への組織的な援助を充実させます。
- 魅力的で多様な道徳・特別活動の授業が展開できるような支援をします。

視点③ 健康・安全な習慣づくり

- 各校の体力向上推進計画の見直しを図り、計画の有効性や実効性を検証します。
- 学校保健委員会の内容について検証し、効果的な取組を紹介するなど、健康教育の充実に支援します。
- ICTや外部講師を取り入れた先進校の活動を紹介するなど、保健・安全指導の充実に支援します。

視点④ 地域と学校の連携・協働の推進

- 学校訪問における話合い、実践紹介日より『連携・協働のカ・タ・チ』の発行等、学校・社会教育関係者への積極的な普及啓発、理解促進に努めます。
- 地域貢献に視点を当てた講演、実践発表等を取り入れ、「地域連携担当教職員等研修会」の充実に努めます。
- 研修の講師等の要請を積極的に受け入れます。

視点⑤ 切れ目のない支援体制の整備

- 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制整備を推進するために、個別の教育支援計画を活用した連携や、通常の学級に在籍する児童生徒の理解等に関する研修を支援します。
- 市町村教育委員会が主体的に支援体制整備を推進できるように、研修支援や関係機関との連携強化への支援をします。

視点⑥ 信頼される学校づくり

- 教職員の勤務の適正化と多忙化解消に向けた取組を推進します。
- 服務倫理委員会の活性化を促すための研修会の充実を図り、不祥事防止に努めます。
- 管理職の実践的な学校経営マネジメント力の向上を図るための会議の充実を図ります。